

# 創造の街、住まいの街 — シモキタ

平成18年11月20日

原告代表 原田 学

## 1 はじめに

私は、この訴訟の原告代表を務めている原田学です。

私は、1973年から33年間に渡って下北沢に居住し、その内23年間は補助54号線の道路予定地の上に住んでおります。

私は、現在、株式会社マルコム代表取締役を務めています。

マルコムは、理科学測定器の開発とそれを応用した自動制御装置の製造・設計・販売などを行っている会社で、東京都渋谷区に本社があるほか、工場、ショールームがあり、韓国に支社があります。

また、私は、東京農工大学の客員教授も務めております。

## 2 創造の街 — 下北沢

私の下北沢との関わりは、私の会社マルコムの歴史と重なります。

というのも、私が、1973年にマルコムを起業するに際して最初にオフィスを作ったのが下北沢だったからです(写真資料1)。もの創りの会社でありますから他の場所でもよかったのですが、私が下北沢が好きで、少し無理をして決めたのです。

その後会社が成長し、社員が増えたことから、1981年に、南口から一分の商店街にオフィスを借りましたが、職場としてのシモキタは私の会社に多くのものをもたらしてくれました。

その頃の南口商店街は今ほどの賑わいはなく静かなものでしたが、それでも、特徴のある店が多くあったと思います。芸能人のよく来る、ジャズバー、ロックバー、飲み屋等の夜の店だけでなく、昼の店でも特徴のある店がたくさんありました。

独創的で、自立したものの作りを目指した私は、他に無く他に真似をされない製品の開発、創造的な製品の発明を想って、ソクラテスよろしく昼のシモキタ、夜のシモキタをさまよい思索を重ねたものです。そして、多くの特許とその製品、そして国際規格や日本の規格製品を生み出してきました。シモキタは、私にとっては創造の街です。

現在も多くの若者が、何かが起こるかも知れないとシモキタに集まってきます。若者が集まればそこに新しい文化が生まれます。シモキタはすでに文化の発信基地です。失ってはならないものだと思います（写真資料2）。

### 3 東京で行くべきは下北沢

80年代になるとシモキタは若者の街として全国的に認知され、街には若者があふれ返るように集まっておりました。

当時のシモキタを語るのによい話があります。私の会社の社員で生物工学の博士でもある韓国人の男が教えてくれた事です。彼は1987年に日本に勉学の為に来たのですが、その時一冊の韓国製の東京案内本を握りしめて持って来ました。その本には東京には行くべき場所がいくつかあるが、特に行くべき所は浅草と下北沢であると書いてあったそうです。

### 4 住まいとしての下北沢

会社が大きくなり、本社は渋谷区に移転しましたが、住まいはずっと下北沢です。

住まいとしてのシモキタは本当に便利な街です。小田急線と井の頭線が交差する下北沢駅を中心にして、東北沢、世田谷代田、池ノ上、新代田、どの駅に行くにしても徒歩15分から20分で行けるのです。

シモキタは小さな商店街とこれをドーナツ状に取り巻く住宅街で成立しております。シモキタはほとんど住宅街なのです。オフィスビルを林立させて新宿、渋谷のような街にすべきではありません（写真資料3）。

自動車の為の新しい道路は住民には全く必要ありません。自動車に追い立てられずに出来る買物、毎日が歩行者天国、歩いて安心出来る路地。このすばらしい生活環境が失われることは許せません（写真資料4）。

## 5 説明のなかった道路計画

先に述べたように、私は、補助54号線計画道路上の地権者です。にもかかわらず、本事業計画の実施に関して当局からの報告、説明はこれまでに全く無く、受けておりません。強い不信感を抱いております。

60年前に計画された道路が、突然目をさましてシモキタの街を壊すのは止めてください。下北沢北側の商業地区の1/3を全て踏み潰し、アスファルトとコンクリートの世界に変えるような計画はすぐに止めて下さい。

日本は大変な赤字を抱えた国ではないのですか。医療や福祉への支出をどんどん減らしているではないですか。ならば必要もない道路をこれ以上莫大なお金を使って作るのは止めて下さい。

## 6 さいごに

今回立ち上がった原告53名は、私と同じようにシモキタを愛し、人生の大切な時間をシモキタで過ごしてきた人たちです。

また、今や全国的にも、海外でも、下北沢は有名になりました。多くの人がこの裁判を注目しています。

どうか、私たちの声を真摯に受け止めていただき、公正にご判断いただきたいと思います。

以上



1. マルコムの歴史はここから始まった。



2. 全国から若者がシモキタにやってくる。  
この写真に映っている一帯は補助 54 号線の計画予定地である。



3. 住宅街のなかに静かに佇む世田谷教会。  
補助54号線の計画予定地。



4. 人がゆったりと歩き、楽しめる街、下北沢。